

2006.7.5

現場見学会(その2)の案内

「都市環境プロジェクト・環境生態学 合同見学会」

見学場所：
・ラムサール条約湿地藤原干潟 環境省 稲永ビジターセンター
・名古屋市 野鳥観察館
・戸田川緑地 西の森 野鳥・昆虫の森

見学日時：平成18年7月5日(水) 9:00～12:10

集合時間：8:50

集合場所：大同工業大学図書館前の中庭

バスの分乗：1号車 C06001～C06036, 鶴見先生, 大東先生, 坂部先生
2号車 C06037～C06072, 過年度生, 木全先生, 長谷川先生,
宮澤君 (TA)

スケジュール

9:00 大学出発
9:25 稲永公園南駐車場着
9:30
～ 稲永ビジターセンター・野鳥観察館 (2班に分かれて見学)
10:20
10:25 稲永公園南駐車場発
10:45 戸田川緑地 第3駐車場着
10:50
～ 野鳥・昆虫の森 (各自が調査)
11:35
11:40 戸田川緑地 第3駐車場発
12:10 大同工業大学着

現場見学会(その2)

都市環境プロジェクトのレポートについて

見学場所：稻永ビジターセンター・野鳥観察館

見学日時：平成18年7月5日(水) 9:30~10:20

【レポート課題】

以下の内容を含んだレポートを、図・表を用いてA4用紙2枚程度にまとめる
こと。

- ・ラムサール条約とはどのような条約であるか。
- ・藤前干潟と名古屋市のゴミ問題との関係。
- ・藤前干潟の存在が名古屋市の環境に与えている影響。
- ・干潟を保全するために、市民や行政がどのような行動をすればよいか。

提出期限：平成18年7月11日(火)17:00

提出場所：白水事務室

(メモ)

基本方針

森・川・ひろばのバランスは1:1:1

戸田川緑地(60ha)に、まとまりのある森、原風景を映します。
水面、広がりのある芝生ひろばをバランス良く配置します。
・五一の災害に備えて防災空間を確保します。

市民・企業・行政のパートナーシップ

パートナーシップによって長期的な植樹と育樹を進めます。

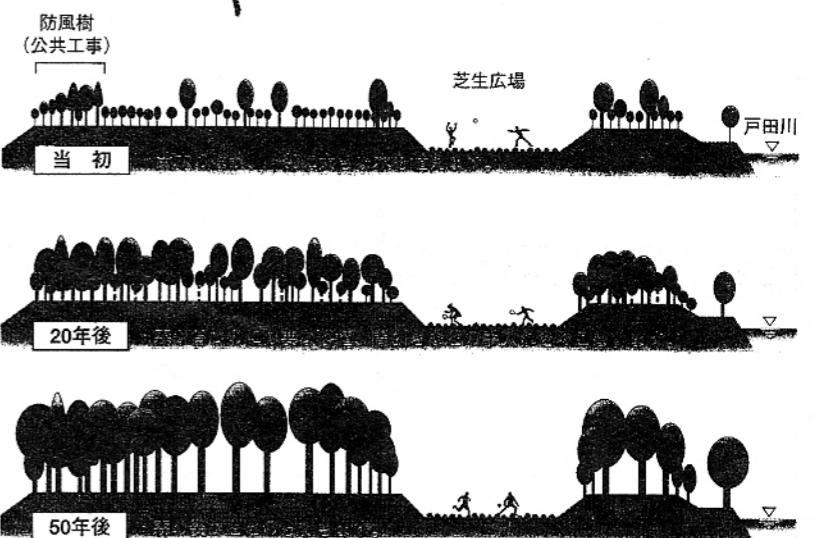
四季・彩・美のある自然豊かな森づくり

豊かな景観美に富む森づくりをめざします。
人の利用とともに、多様な生きものの生息に配慮した森づくりを
進めます。
木の活用、木のリサイクル材の利用を進めます。

みんなで木を植え、森をそだてる 活動に参加してみませんか!!



森がそだつまで(中央地区右岸)



森づくりのイメージ(戸田川緑地)



北地区の森づくり

林の中で体を動かして健康増進を図ることができる、明るく開放的な森をそだてます。

- スポーツ、レクリエーション施設が森の中に点在し、全体が樹冠に覆われた森の形成をめざします。

森の中でスポーツ・レクリエーションが楽しめます。

(北地区) 健康とスポーツゾーン



中央地区左岸の森づくり

蛇行する戸田川の水郷風景の中で自然観察と実体験ができる森をそだてます。

- 湿地性植物などを基本とした名古屋西部の沖積平野の原風景をとり入れた森づくりをめざします。
- どんぐり、木の実などの種子から苗を育て、森づくりに生かします。

水辺のみどりを体験できます。

南地区的森づくり

農業文化圏と一体となり、農業・園芸がもたらしてくれる自然の恵み、太陽の恵みを感じることができる森をそだてます。

- 畑の野菜、花壇の園芸植物、芝生のみどり。
これらを囲み、「陽の郷」にふさわしく、木陰で憩うことのできる花で彩られた美しい景観の森づくりをめざします。

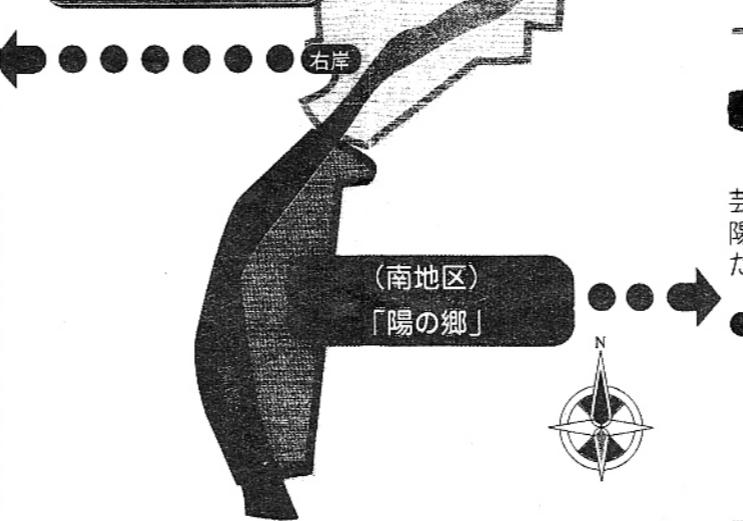


花で彩られた森を楽しめます。



家族と一緒に森とのふれあいを楽しめます。

(中央地区) 水郷とファミリースポーツゾーン



の場所 (年目)

見つけた生き物といいた場所	隠れ家（スケッチなど）	葉・枝・芽のスケッチ
10秒間目を閉じて聞こえた	自然の物で色をつける	木全体の樹形
丸い形	四角い形	三角の形

観察したこの場所について

★好きな場所・好きな所

★違和感があった場所・気に入らない所

★気付いた事（何でもOK）

環境生態学見学会 長谷川先生 宿題 (文責・鷺見)

- ・レポート作成して提出すること。
- ・表紙をつけること
- ・配布した記入シート(bingoシート)を提出する。
- ・戸田川緑地公園での調査で感じしたことなんでも書き出す。